



World Karate Federation General Secretary Office News Letter vol.15

Edition October 22nd, 2015

パラリンピックを見据えた シンポジウム

ドイツ空手道連盟会長を招いて

10月1日(木)、国際武道大学(IBU)と全日本空手道連盟によるシンポジウムが行なわれ、私はパネリストとして参加しました。

このシンポジウムはIBU松井完太郎教授の発案で企画されたものです。空手の「パラリンピック」正式種目採用を見据えて、障がい者空手の可能性を探ることをテーマとし、私は2020年東京オリンピック追加種目提案までの経緯をご説明いたしました。

また、WKF理事であり(オリンピック・パラリンピック事業担当)、ドイツ空手道連盟会長のウォルフガング・ワイガート氏がドイツから来日、出席してくれました。彼は、WKF第1回世界障がい者空手道選手権大会(2014年)開催までの経緯や、WKFがこのたび国際パラリンピック委員会に承認された経緯などを紹介し、参加者にとって貴重な情報共有の機会になったことと思います。

ところで、2024年オリンピックの開催地にドイツのハンブルクが立候補していますが、ワイガート氏はこのハンブルク招致委員会のメンバーになっています。招致資料の表紙には、空手を習う子どものイメージ写真が使われていました。まだ五輪競技ではない空手の役員が、招致委員会のメンバーになるとは驚くべきことです。ワイガート氏の手腕もさることながら、スポーツ界から空手への期待が高まっていることを実感します。



シンポジウムに参加したみなさん。

第2回世界大会、そしてパラ大会

パラリンピックについては、2020年大会の実施種目はすでに決定し、追加種目を設ける制度はございません。したがって2020年にパラリンピック種目となる可能性は今のところ「無し」ですが、デモンストレーションなど何らかの方法で参加ができないか模索しています。いずれにしても空手がオリンピック正式種目となることが大前提となります。

障がい者空手の事業については、まずは来年の第2回世界障がい者大会の成功を目標に、そして2024年パラリンピック採用に向け力を入れてまいります。

世界空手連盟 事務総長

奈藏 稔久

行事・出張スケジュール

10月25日(日)~29日(木) ベルギー

F I S U世界学生 日本招致プレゼンテーション

世界空手連盟 事務総長事務所

〒135-8538 東京都江東区辰巳1-1-20 日本空手道会館

電話 03-3522-6673 FAX 03-3522-6675 kobinata@wkf-gs.jp